

モキユメンタリー
長谷 陸 (早稲田大学大学院生)

研究発表テーマ
「証言のゲーム」を攪乱する
Gulliver's Travels における
法批判と科学批判の連動

モキユメンタリーと
呼ばれる映像作品のシ
ャトルがある。フィク
ションをドキュメンタ
リーのようにみせかけ
る表現方法で、現実と
虚構の境目が溶け無
くなるようなスタイルが
味わえる。ホラ・動画
を投稿している「Toni
Ego」チャンネルのラ
イフ・ドキュメンタリー
「EQ」を持ちカメラ
による映画制作再現
ヴァーは馬の国がある
証を提示しないし
か、小人の国からは
「さながら絵巻」など、
近年このジャンルには
面白い作品が多い。気
羊を持ち帰ってきた
軽情報発信で、そ

「土」に内包する
現実や思念
佐藤優果 (慶應義塾大学大学院生)

一九二五年生まれの
小説家フナリー・オ
コナーは、父と同じ病
である全身性エリテマ
トースを理由に、生
涯のほとんどを地中
ジョシアで過ごした。
アイオワ人の創作材
本格的な作品を書き
はじめ、東部と南部
を行き来しながら完結
した時間を送るはずだ
た彼女の生活は、ジョ
シア州ミッドウェイ
の小さな田舎の農場
での母との暮らしに
定される結果となっ
た。そんな彼女の小説
に近づいていく理由

キーワードは娯楽性と笑い
杉山ゆき (東京都大学助教)

シンポジウム
西洋中世の聖書
ナラティブ
講師

聖書が英訳され印刷
本として普及する前
の中世イングランドに
いて、ラテン語を読む
ことのできない一般
徒が聖書の内容を知る
のは、翻訳を通じて
であった。想定される
者によって変幻自在
に語り直された創世
記から黙示録までの
聖書が英訳され印刷
本として普及する前
の中世イングランドに
いて、ラテン語を読む
ことのできない一般
徒が聖書の内容を知る
のは、翻訳を通じて
であった。想定される
者によって変幻自在
に語り直された創世
記から黙示録までの

「My poor lame, feeble dog!”
『オーロラ・フロイド』に
おける犬、ドメスティック
・イデオロギー
越智友里絵 (慶應義塾大学大学院生)

つかもしれない。しか
し、小説家として広
島の爆弾は田舎のジョ
シアでわたしの判
断に影響を与える」と
いう言葉をエッセイ
に記したオコナーの作
品は、意外なほどに
射撃を持つとわはし
い込み、オコナーの
説に顕著な衝動的な
無条理な出来事「た
えば突然の死や他人
の襲撃といったもの
」を体験させられる
のである。このよう
な南部作家らしいク
ロテスクな小説のし
らえを敬愛する読者
も少なくないだろう。
一九六〇年発表の長
編小説『The Violent
Bear』は、これを奪
う「怒り」を表現し
たミッドウェイの農
場を訪れたオコナー
の物語である。この
物語は、オコナーの
南部の土地で、オコ
ナーの書きの机から
み出された言葉が、
借りたもので、この
うな要素もキリスト
文化に親しみがない
者がオコナーの作品
に近づいていく理由

そんな聖書ナラティ
ブの心づくの例とし
て、あるいは基礎教
育北のヨキシャー、一
五世紀の神ローバ
ン、ソートンによつて
生きた神ローバ、コ
マンズと題した
作品では、騎士の冒
険や貴婦人の恋愛は
りてなく、随所に笑
いが多い。ソートン
の期に記述を含む
外典の翻訳、小な
イェスがエドヤ人の
子どもたちと遊んだり
、エルサレムを世界
の中心に描き、ヨハ
ンに描き、ヨハネに
つ成し、ヨハネによ
つ洗いを受けるまで
の出来事を描く。ソ
ン写本版のキリスト
伝は、第二回十字軍
で活躍したチャド二
世の虚実ないませの
文ロマンチックな
ド獅子親王の対
「ロマン」として
編集されている点
筆に値する。従来、
リスト伝は、理想

これはこの時代の科
学史を踏まえれば、
理不尽な法律がある
は存在して、法律
なして喜ばせるユ
ピアは実在しない
意を探る。私
ち読者を笑すス
ワフの法律への批
判は真に迫っている。
これが世に与える
フェイクの時代を
る人間として『ガ
リア旅行記』の真
明かしたい。(はせ
りく英文学)

性作家であるワイル
キ・コリンズの活躍
世に知られていた
現在では女性作家
ン・ウッドやメリ
エリザベス・ブラ
ンが注目されてい
「オーロラ・フロ
イド」は結婚、重
迫、殺人等セン
クトロア朝期に
動は、オコナー
の愛の虐待を目
たりに怒りに
使用人に。ペ
ットへの愛情を
物への愛情を描
「作者が描いた
を分析すること
発表の主眼である。
おち、ゆりえ英
文学)

現代のペットと飼
い主の関係は、キ
ヴィクトリア朝に
強まり、再び脚
び始めた。それまで
ト・リトヴォによ

キリル・チャーチル
前衛であり続ける強さと柔軟さ
四六判・240頁・3300円
岩田美善著 時系列に沿って創作活動
を追ひ、代表作や特に注目する作
品を考察して劇作家としてのチャー
チルの全体像をたどる。

アーシュラ・K・ルグイン
新たな帰還
四六判・408頁・4180円
佐々木真理著 SFとファンタジーの
新たな道を切り開き、その可能性を
模索し続けた、ルグインという作家
の旅をたどる。

私たちはシェイクスピアの同時代人
映画にみる現代人のルネサンスの心性
四六判・308頁・3960円
中村友紀著 シェイクスピア再生産の
長きに亘る持続の理由を探り、現代
の個人や社会の中に近代初期的な
思考や諸価値が生きていることを
踏跡をたどる。

十九世紀小説の誕生
ディケンズ前期小説における
ジャンルの変容
四六判・336頁・4400円
新野緑著 『ボスのスケッチ』から
『バーナビー・ラッジ』に至る前期
小説におけるジャンル、モチーフの
変容に着目し、作家的発展の軌跡
をたどる。

ゴシックと身体
想像力と解放の英文学
四六判・240頁・2640円
小川公代著 家父長制に抗う女
たちがもちいたものこそ「ゴ
シック」の戦術の長きにわた
るゴシック文学研究、初の単
行本化。

パベルをこえて
多言語習得の達人をめぐる旅
A5判・484頁・4180円
マイケル・エラード著 竹内理
史の流に翻弄され続ける「言
葉を学ぶ」という営みを、超
多言語習得者という存在の
解明を通して捉える。

別の地図
英文学的小旅行のために
四六判・307頁・2420円
高橋和久著 『一九八四年』論
、絵解きが紡ぐ18世紀英文学
史、フォースター再評価、
ワルプの演出話、20世紀
末読書案内…スリリングな
批評の世界。

アメリカン・クライシス
危機の時代の物語のかたち
四六判・201頁・2640円
ハーン小路恭子著 人種、ジェ
ンダーなどが交差し醸成され
てきた危機の感覚が文学と視
覚文化の中でいかに実践
され共有されているかを解
き明かす。

ヘミングウェイの五感
四六判・224頁・2640円
戸田慧著 「五感」にまつわる
表現に焦点をあて、ヘミング
ウェイ作品を精密に考察。
初期から後期にいたるま
で、主要作品を包括的に分
析する。

響き合うアメリカ文学
テキスト、コンテキスト、
コンテキストの共有
四六判・304頁・3080円
山下昇著 古今のアメリカ文
学を幅広く取り上げ、コン
テキストとインターテキスト
という視点から、それら作
品の特徴や相互影響関係
を検討する。

フォークナーの晩年様式
その展開と変容
四六判・240頁・3300円
山本裕子著 フォークナーの
後期作品に見られる、老い
のペルソナと自伝的様式を
精密に考察。フォークナー
の「レイト・スタイル」の内
実を迫る。

ジョン・アップダイクの世界
体験から虚構へ
四六判・204頁・2200円
岩元巖著 ジョン・アップ
ダイクは未成年期の体験を
自らの作品の「虚構」と公
言する。「虚構」がいかに
虚構を生み出したのか。謎
に迫る著者の力作。

アメリカ文学と戦争
American Literature and Warfare
A5判・276頁・3630円
依藤道夫編註/小倉いづみ・古
屋功・依藤朝子・滝口美佳・
花田愛著 文人们が戦争とい
うテーマをいかに取り
組み描き出してきたかを考
察する。

ソール・ペロウ研究
ペロウの文学とアメリカ社会
四六判・292頁・2750円
坂口佳世子著 長編第一作『
宙ぶらりんの男』から第九
作『学部長の十二月』ま
での作品をその当時アメリ
カ社会を概観しながら論
じている。

比喩と反語
アメリカの詩と批評
四六判・432頁・5720円
富山英俊著 詩とその後の
展開の諸相を引用と論考に
より提示し、批評の実践
とくに「比喩」の種々の
言語ゲームを考察する。

遊園地と都市文学
アメリカン・メトロポリス
のモダニティ
A5判・296頁・3520円
坪野圭介著 『街の女マギー』
発表の1925年から『グ
レート・ギャツビー』発表
の1925年まで、遊園地とい
う磁場が生み出した世紀
転換期の米文学を透徹

欲望のポートレート
英語圏小説に見る肖像、人形、
そしてヒューマノイド
A5判・264頁・3080円
松宮園子著 絵画、写真、彫
像、人形、そしてヒューマ
ノイドという、媒体を「ポ
ートレート」という枠組で連
鎖させ、英語圏小説を通
して俯瞰する。

アナイイス・ニンの魂と肉体の実験室
パリ、1930年代
四六判・272頁・2860円
矢口裕子著 もっとも作家ら
しい時代の日記、創作、書
簡などに刻まれた多層の
ヴェールの奥に潜む「ア
ナイイス・ニン」を読み解
く。

ポップ・カルチャー批評の理論
現代思想とカルチュラル・スタディーズ
A5判・510頁・3520円
ジョン・ストロー/鈴木健・越
智博美訳 マルクス主義から
精神分析、構造主義、ジェ
ンダー研究まで、現代思想
を通して現代の知を理解す
る。好評再版!

太陽に挑む篇
シェリー後期散文集
四六判・272頁・5060円
上野和廣/白石治恵監訳 杉
野徹/鈴木奈奈/新名ま
すみ訳 フランス革命
木、権威に反逆し、不合理
に憤った英国詩人シェリー
の魂の叫びがここに!

アメリカ文学と大統領
文学史と文化史
A5判・544頁・6380円
巽孝之監修・大串尚代/佐藤
光重/常山菜穂子編著 歴
代大統領をたどり、みえ
てくる新たなアメリカ文学
史の軌跡をたどる。

物語の言語学
語りにもつたばの不思議
A5判・256頁・2640円
甲田直美著 小説、神話、
マンガ、都市伝説など、「物
語」の面白さに言語学
の様々な観点から触れ、
わかりやすく解説する
新しい言語学・物語論入門。

出版社ガイド
英文研出版 ☎0957-42-3059
音羽書房鶴見書店 ☎03-3814-0491
開文社出版 ☎03-3358-6288
関文社出版 ☎03-3263-3828
星堂 ☎03-3288-7777
研究社 ☎03-3234-5931
彩流社 ☎03-3405-4511
三修社 ☎045-261-3168
三春風 ☎03-3230-4813
松栢社 ☎075-531-2878
成美堂 ☎03-3291-2261
せりか書房 ☎03-5940-4700
小鳥遊書房 ☎03-6265-4910
南雲 ☎03-3268-2311
ひつじ書房 ☎03-5319-4916

週刊読書人
『英米文学研究書あんない』
特設サイト
「読書人ウェブ」では本特
集紙面に加え、昨年の紙
面もご覧いただけます。
上記QRコードからアクセ
スしてください。

特集 英米文学／研究書のススメ